

平成 25 年度第 3 回有線テレビ放送番組審議会 議事録

用語：委員の発言は「○」、指定管理者の発言は「●」、下呂市の発言は「※」と表記。

番組審議会委員の出席者は 7 名（3 名欠席）。過半数につき成立します。

■議 事

(1) 下半期経過報告について

CCNより説明。(資料P1～P7)

以下、協議内容。

- お気づきの点や、ご意見がありましたらお願いします。
- 「週刊まめなかな」中の馬瀬地域取り扱い件数が昨年に比べ減っている件について、地域住民が直接シーシーエヌに情報提供することはあまり無いと思うので、振興事務所を情報収集の窓口にとしたらどうか。
- 各振興事務所から情報を頂いているが、改めて情報収集のお願いをしたい。
- 一般の方が、どのように情報を伝達したらよいか分かっていないし、直接提供するのが苦手な方もいる。また、急な情報提供は取材できない事も知らないので、早めの情報提供を周知し振興事務所で情報を掌握してもらいたい。
- 市と相談しながら取り組みたい。
- 情報委員のような人が必要では。振興事務所職員だけでは、地元の情報を掌握できない。前に私自身が取材を断られた事がある。床屋のような地域の情報が集まるところを情報委員としてお願いしてはどうか。情報提供した方がガッカリしないよう締切期日の周知を。
- 情報掌握の仕方を十分検討し、市民に周知してもらい、シーシーエヌと連携してほしい。締切期日としては1週間前くらいなのか。
- 1週間前くらいには大まかな計画が決まるが、2～3日前に取材相手に確定の連絡を行うと変更することができない。確定前なら差し替えは可能。
- 公的な人の方が情報掌握には向いている。地域に根差し地域力を上げる意味でも振興事務所情報収集してほしい。
- 一人で情報収集することは無理。振興事務所の範囲内には情報通の人がみえるので、うまく活用してほしい。

- 「週刊まめなかな」の情報取り扱い件数が前年比120%に増えたのは、ニュース毎の時間が短くなったということか。
- 「週刊まめなかな」に正式な放送時間枠は無い。放送するニュース項目自体も増え、全体の時間枠もその時々によって増えている。
- 今後も増えていくのか。
- 実際、6項目が適切（7項目放送することもあるが）で、来年度も同様の取り扱い件数となる予定。

- 取材依頼するのは勇気がいるといった意見があり、垣根が越えられない。
- 普段は、秘書広報課から情報を得たり、情報を公開しているところをチェックして情報収集している。
- 一般市民からすると、取り上げて貰えるかどうかの基準が解らない。振興事務所に情報提供することも苦手な方もいる。情報提供しやすい手段を考えてほしい。
- 取材にお邪魔した際に、放送予定日の案内文書をお渡ししているが、この2月から情報提供募集記事も記載することとした。

- 加入者が視聴したい時間帯を調べたことはあるか。私自身は、19時からの放送より18時が良いが、より視聴してもらえるように検討しているか。
- 以前もアンケートで調査したことがあり、今回の市民アンケートでもよく視聴する時間帯を調査する項目がある。こうした意見を編成に生かしていきたいが、奇数時間の放送がかなり定着しているため崩しにくい。

- 下呂へGO等で取り上げた取材先への反響はあったのか。（12月放送の喫茶店特集等）
- 完全に把握できていないが、今後フォローも考えていきたい。
- 12月放送の喫茶店特集は良い番組だったが、地図が出ないので場所が解らない。何か目印になる（公共施設や病院等）ものを表示しては。
- チャンネル長良川でも、地図を載せたことはあったが、大ざっぱになってしまい返って解りづらかった。早送りで経路を移す技法を用いることもある。
- 下呂へGOで取材する場所を選ぶ基準はあるのか。
- スタッフが実際に行ってみたり、直接問い合わせをしたりして情報を集めている。

- 床屋や美容院は情報が集まる場所。情報を出しやすい環境を作り、集まった情報を振興事務所の方が取りに行くのはどうか。現状のメール等の収集では、使える人が限られる。金山ケーブルテレビ時は情報委員がいた。

- 月一回、公民館だよりが各家庭に配られている（下呂・金山地域のみ）が、公民館の中の行事しか記事になっておらず、沢山ある外の行事が紹介されていない。そういった情報（行事）も市で集約し、公民館だよりのカレンダーに掲載していただき、シーシーエ

ヌへも提供すれば漏れなく情報も集まると思う。

- ※ 地域担当職員が、地域を知り上手く発信していく必要がある。ネットワーク作り。
- 市職員がもっと地域に入っていくべき。
- 小坂商工会で、地域の物産品を詰め合わせたパックを「週刊まめなかな」で紹介してほしいとお願いしたところ、価格は載せれないとのことで物の紹介のみとなったが、基準（ボーダー）が解りづらかった。
- 価格を表示することによってコマーシャルになってしまい別途料金が掛かってしまう。
- 価格を載せないのは、視聴者の方が余計に分かりにくいのではないかと感じた。

(2) 来年度事業計画について

CCNより説明。(資料P8～P13)

以下、協議内容。

- データ放送の天気予報について、農業者としては天気が重要。雨雲レーダーが無くなったので復活してほしいと言われている。レーダーだと天気が予測しやすい。以前、有ったものが無くなったが非常に便利だった。(お天気チャンネルのこと)
- 技術的には出来ます。NHKのデータ放送に気象レーダーがある。最近、雨雲レーダーのほか、Xバンドレーダーで雨雲の動きを予測可能。
- NHKの雨雲レーダーを活用しろと言うことか。
- チャンネル下呂のデータ放送で、どのコンテンツを充実させていくか優先順位を付けて検討していきたい。
- ※ 9月からデータ放送を開始したが、今回実施したアンケートにも知りたい情報について質問をしているので、そうした意見を基に改修を考えたい。雨雲レーダーを扱うにも費用が発生する。方向性は市民のニーズに沿うが、他局のデータ放送を活用していただくのも一つで、利用者側で使いこなして頂くのも必要。下呂に密着したコンテンツの充実を考えており、今後は番組審議会の意見も含め検討したい。
- 金山では、まちづくり協議会（未来塾）の広報誌を作成し、行事予定も掲載しているので活用を。
- 前回、ご紹介いただいたので活用している。今後も活用したい。
- 下呂市合併10周年で発表される「市民憲章」について、定期的に市民に周知を図ってほしいが、今後の周知や取組みについて何か考えはあるのか。
- 市民への周知をケーブルテレビとしてどう関わるか考えたい。市役所からのお知らせで放送するのも一つの考えとしてある。

- ※ 式典で小中学生が披露したのをケーブルテレビで放送してもらう予定。また、色んな公の場での紹介、封筒への印刷、会議の冒頭に唱和する等を考えている。

(3) アンケート結果（中間報告）について

事務局より説明。（P 14～P 20）

以下、協議内容。

- 番組づくりのうえで貴重な意見を頂いているので、委員の方は御一読していただき、今後の審議に参考としていただきたい。
- アンケートを読むと、良くない意見が多いが、回答者に60歳以上が多いことに原因があるのでは。若い人の意見だったら違う結果が得られると思う。回収率が34%と少ないのに驚いたが、対象者1,000人としてもいいので、ばらけた年齢層なら違った意見が聞けると思う。
- ※ 今後の参考にします。
- 市街地の加入率が悪いと聞くが、地域別でアンケート結果を纏めると傾向が解るのでは。
- ※ 地域別で纏めることもできる。
- 良い番組を制作放送しても、加入してもらわないと意味がない。未加入者の意見を知り、今後の審議に参考としたいので上手くデータ化してほしい。
- アンケート結果を分析し、加入率の促進に努めていただきたい。

(5) その他

- 鳥獣害対策を全国で取り組んでいるので、市民の方に知っていただくチャンス（番組等）を作してほしい。
- 市民の方で被害に合い農業を辞めた人もいる。市内でも鳥獣害対策に取り組んでいる方もいる。活動や取組みを紹介していただくとありがたい。

以上